

〔別添〕

○「小学校教育に関するアンケート調査」集計結果

本村では、本年2月に「美浦村公共施設等総合管理計画」を策定し、教育施設を始め、村の公共施設の管理を今後10年間どのように進めていくか決めました。維持していくためのコストを計算し、人口の推移を考慮して削減できるものは削減するなど、効率的に質の高い公共サービスを提供する計画となっています。教育委員会といたしましては、学校施設の整備・維持を鋭意進めてまいりましたが、一方で児童数の減少により、このまま人口が推移すると、小学校学級編制において、複式学級となる可能性が生じています。そこで、これから本村の小学校に入学されるお子さまをお持ちの皆さまに、小学校教育に対する考え方をお聞きし、今後の方針を検討していくうえで参考とさせていただきたいと考え、平成29年12月に「小学校教育に関するアンケート調査」を実施しました。

対象となる児童数は684人、世帯単位でまとめて送付件数が512件。回収数は210件で回答率は41.02%となりました。

以下に集計結果をお示しします。なお、集計表とグラフは別紙にまとめておりますので、そちらをご覧ください。問7の回答につきましては、教育委員会としてこれから業務を実施していくうえでの参考とさせていただきます。

なお、集計時に用いる項目等は、アンケート回答票で使用している文言を省略していますので、別添「アンケート調査票」をご覧ください。

【アンケート対象児童の分析】

1 対象者の学齢区分 [別紙1p]

アンケートの対象児童は、平成29年11月30日付で村に住民票がある全ての未就学児童を対象としました。件数は684件。送付の方法として保護者等への送付とするため、送付件数は512件です。学齢区分は概ね年が大きいほど多く、6歳児は114件ですが1歳児は91件と20件余り減少しています。なお、0歳児は11月末までなので、8か月分となります。

2 対象者の属する小学校区 [別紙1p]

アンケート対象児童を小学校区単位でみると、木原小学校区が213件、安中小学校区が65件、大谷小学校区が406件でした。平成29年度の各校児童の構成比と比較すると、大きな差異はみられませんでした。

【アンケート回答の分析】

問A アンケート回答者の年齢区分 [別紙1p]

アンケートにお答えいただいた方の年齢区分です。最も多かったのは②30歳～39歳で62.4%、次が③40歳～49歳で26.2%、この2区分で90%近くとなりました。また、60歳以上は0件でした。

問B アンケート回答者の小学校区 [別紙1p]

アンケートにお答えいただいた方の小学校区です。この項目で、不詳が生じました。アンケート回答項目は①から③を選択する形でしたが、例示で「属する行政区」を示したところ、例示のカナ（ア、カ

〔別添〕

等)で回答をされた方があり、選択項目を特定できるものは特定しましたが、48件(22.9%)は特定できず不詳となってしまいました。不詳を除外した①から③の構成比は、平成29年度の各校児童の構成比と比べると、②の安中小と③の大谷小が多く、①の木原小が約6%ほど少ない結果となりました。

問C アンケート回答者とお子さまとの関係 [別紙2p]

アンケートにお答えいただいた方とお子さんとの関係です。①父親が61件29%、②母親が149件71%となりました。

これより以下の集計は、単純集計に加えてクロス集計を行っている項目があります。説明変数(表の左に配置する項目)を「回答者年齢区分」と「回答者の属する小学校区」としました。

※クロス集計とは……調査データの集計を行う際、単純に項目を集計した後、複数の項目を掛け合わせて集計することにより、さまざまな角度から分析すること。項目相互の関係を明らかにすることができる。

問A お子さまの年齢区分 [単純集計：別紙2p クロス集計：別紙6p]

アンケートにお答えいただいた方のお子さんの年齢区分です。4歳児をお持ちの方の回答が少ない傾向はありますが、概ねアンケート発送対象と近い比率となっています。クロス集計結果でも、アンケート発送対象者の比率と近い数字となっています。

問I お子さまが通っている子育て施設 [単純集計：別紙2p クロス集計：別紙6p]

アンケートにお答えいただいた方のお子さんが通っている子育て施設です。本村に④の認定こども園が存在しないため、少ない人数となっています。また、想定していたより①どの施設にも通っていないを選択された方が多いこと、木原小学校区は保育所の率が高いこと、安中小学校区は幼稚園の率が高いことがわかりました。

問1 小学校にどのような教育を望みますか [単純集計：別紙2~3p]

アンケートにお答えいただいた方が村の小学校教育に何を望んでいるかを答えていただきました。1番目に望むこと、2番目に望むこと、3番目に望むことと最大3つの回答をしてもらったため、集計では重み(1番目を3倍、2番目を2倍)をつけて統合しました。村が力を入れている「社会力」が一番多く250ポイント、「学力」「マナー」が続きました。

問2 小学校にとって大事な教育環境はどのようなものですか [単純集計：別紙4p]

アンケートにお答えいただいた方が考える大事な教育環境を複数回答で3つまで答えていただきました。③の教諭の熱意・指導力を選択した方が一番多く148ポイントとなりました。⑧安心できる学級環境を選ばれた方も多く122ポイント、②の教育施設の充実が92ポイントと続きました。今後の村の教育施策を進めていくうえで、参考になると考えられます。

問3 小学校について満足している点はどのようなものですか [単純集計：別紙4p クロス集計：別紙7p]

アンケートにお答えいただいた方が考える、村の小学校で満足している点を複数回答で3つまで答えていただきました。③の体育館やグラウンドが圧倒的に選択されるとともに、⑦の特にないが85ポイントで一番多く選ばれています。クロス集計の結果では、③大谷小学校区の回答で⑦特にないが多く選ばれており、①木原小学校区の回答は、全体に分散している形となりました。

〔別添〕

問4 小学校について不安に感じている点はどのようなものですか〔単純集計：別紙4p クロス集計：別紙7p〕

アンケートにお答えいただいた方が考える、村の小学校で不安に感じている点を複数回答で3つまで答えていただきました。問3の満足している点と同様に⑦特にないが一番多く選択され、続いて⑤の学級の人数が少ないが選択されました。②の施設老朽化も多く選択され、村の課題が浮かんでいます。

クロス集計では、②安中小学校区の回答で⑤の学級の人数の少なさが多く選択されています。

問5 1学年2学級が望ましいと考えますがどう考えますか〔単純集計：別紙5p クロス集計：別紙8p〕

アンケートにお答えいただいた方が考える、1学年の学級数を答えていただきました。①の1学年2学級以上が望ましいという回答が圧倒的に多く（72.4%）になりました。

クロス集計でみると、年齢区分④の50歳～59歳では②1学年1学級でもよいを選択されている方が多く（3人中2人）、同様に②安中小学校区の方で②1学年1学級でもよいを選択された方（22人中10人）が多い傾向がありました。

問6 複式学級についてどう思われますか〔単純集計：別紙5p クロス集計：別紙8p〕

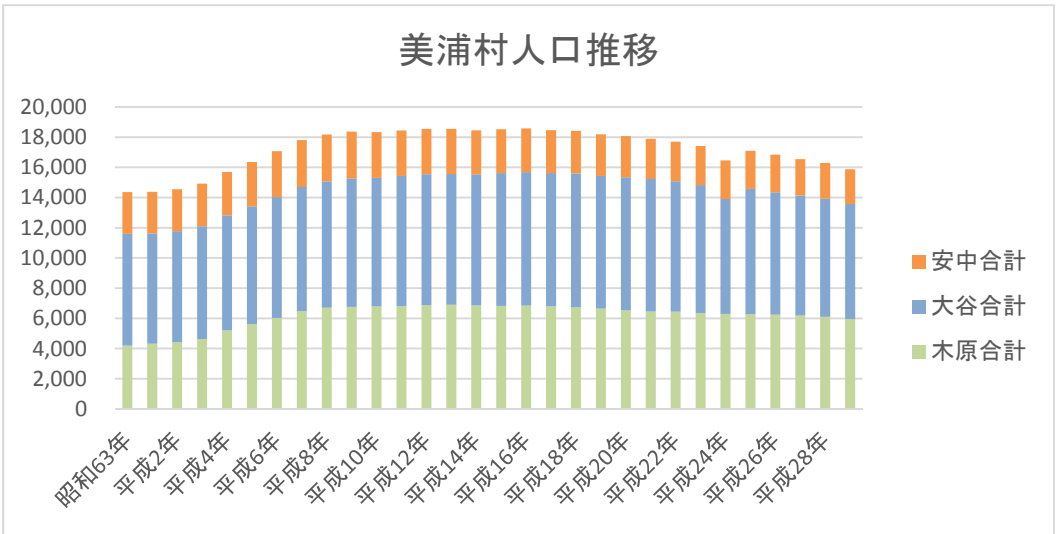
アンケートにお答えいただいた方が複式学級をどう思われるかを答えていただきました。④の複式学級が生じるなら学校統合もやむを得ないを選択された方が一番多く、次に複式にならないなら今の学校規模がいいが続きました。

クロス集計でみると、③安中小学校区の答えが④統合やむなしと②現在規模に大きく分かれており、他の学校区とは違った形になりました。一番規模の大きい③大谷小学校区の回答は④統合やむなしが多いものの他の選択肢にも分かれた回答となりました。

[別添]

[参考]

1 美浦村人口推移（小学校区毎・住基）



2 美浦村年齢区分別人口構成比推移（国勢調査）

